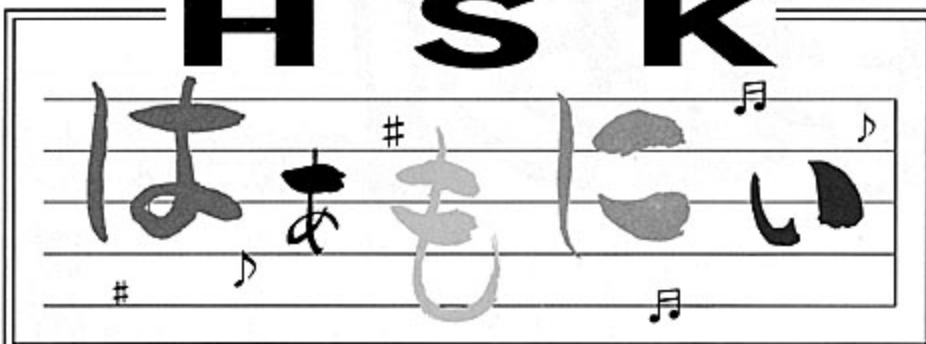


HSK



はあもにい 第16号

・昭和48年1月13日 第3種
郵便物認可
・HSK通巻 413号
・発行人 2006年8月10日
北海道身体障害者
団体定期刊行物協
会(HSK)
細川 久美子
〒063札幌市西区八
軒8条東5丁目4-18
・定価 110円
・編集 はあもにい編集委員会
(0144)87-3800

ちよつと待って! 自立支援法



(財)日本知的障害者福祉協会 会長 小坂孫次氏

緊急集会風景

障害程度区分の見直しを!!

去る6月6日「知的障害者の福祉サービスの確保を求める緊急集会」が日本知的障害者福祉協会の主催により、東京の日比谷野外大音楽堂にて開催された。この集会には、実に全国より5千5百人、当法人からも利用者を含め14名が参加した。

この中では、緊急アピールとして「障害程度区分の抜本的な見直し」、「グループホーム等の居宅サービスへの経過措置」、「所得保障の確立と諸手当の拡充」が提案されました。

特に障害程度区分については重要な問題であり、協賛した各団体からも強くその見直しが要望されました。介護保険の要介護認定を基にした障害程度区分の判定方法では、知的障がい者は区分が低く判定されてしまい、利用者が希望するサービスを受けられなくなってしまう。施設入所については、区分4以上(50歳以上は区分3)が条件など、利用者、施設の双方にとって深刻な問題であります。

これについては、北海道知的障害者福祉協会が5月に行った調査でも65%の利用者が入所支援を受けられなくなるといふ結果が出ています。

一般就労も含めた障がい者の自立と地域社会への移行という「障害者自立支援法」の趣旨はおおいに結構だが、知的障がい者支援の現状に合わないこの制度、より良い方向への見直しを期待したい。

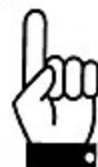
HTB イチオシ! で放映されました!!

世界に 一つだけの味

HTBが白老町で実施した白老で「押し」の店のアンケート調査にて見事3位に選ばれました。そして、去る6月22日木曜日「イチオシ」にてななかまどが全道に向けて放映されました。

「ななかまど」が映し出されると、皆さん歓声をあげながら見えていました。放送終了直後は問い合わせの電話が殺到。また、翌日からは根室や函館など遠方から多くのお客様がシフォンケーキを求めて来店されました。そのため、2週間ほどは製造を通常の3倍〜5倍に増やし対応しました。

これからも皆様に愛されるお店づくりをモットーに、皆で力を合わせて頑張っていきたいと思っております。



ななかまど14周年 記念セール

5月25日より3日間、14周年記念セールをななかまど店舗にて行いました。露店販売として近隣市町村の施設も自慢の商品を持ち寄り出店販売を行いました。

3日間、天候にも恵まれ春の温かい日差しの中、多くのお客様で賑わいを見せました。

特に初日は人気のシフォンケーキ、パンをはじめ、新商品が店内いっぱい並べられる中、列をつくって待たれていたお客様がオープンと同時に押し寄せるなどの場面がありました。

新商品は、6種類出品され中でも白老牛を使用した「メンチカツサンド」、バナナとカシユナツツを入れた「バナナシフォン」、自家製のカスタードを使用した「ツインブレッド」が話題を呼び、売上も目標金額に達成することができました。

今後も、利用者、職員ともに協力し、より多くのお客様に愛される店舗づくりを目指していきたいと思っております。

ジンギスカン

今年も毎年恒例の野外ジンギスカンを、6月26日にポプリにて行いました。当日はそれまでの天候不順がうそのように晴れ、昼食時には日差しが暑いほどになりました。1時間程度の昼食でしたが、みなさんお腹いっぱい食べられたこと



と思います。ななかまど、清掃部もポプリに集まり、久々の全員での食事だったのですね、お話しをしながらみなさん楽しい思いに楽しんでいます。

コメント

4人で食べました。タレを付けすぎてしよっぱかったです。たくさん野菜を食べなさいと言った。(ポプリ利用者 鈴木睦)

おいしかった。肉と野菜とウインナーをたべてお腹いっぱいになった。(ポプリ利用者 鯉田)

パン屋さん集まれ!!

「第一回パン技術研修会」
 ○期日 平成18年6月17・18日
 ○場所 通所授産施設ポプリ

この研修会はパン作業に携わる通所授産施設を対象に、東京から講師を招き実施しました。研修会では、参加した14施設の支援員に実践を交え、講師から基本的な技術指導や各施設がパンに対する問題点などについて懇切丁寧にアドバイスを頂きました。また、講師を交えての懇親会では、各施設の概要と造ってきたパンの説明を頂き、試食した講師から直接評価をもらうことも出来ました。また各施設の情報意見交換も出来ました。参加された各施設からは「直接、生地に触れたりして覚えやすく説明が良かった」「試食、講師の評価コメントなど参考になった」「他施設の様子など聞いた」など意見が寄せられました。初めての研修会で問題点もありましたが次回の研修会までに改善し、よりよい内容にしていきたいと思えます。また、研修で学んだ事を利用者の方々にも反映していただけるよう努力していきたいと思えます。

〈ポプリ支援員 中道〉

参加者のアンケートから

良かった点は？

- 同じパン製造に携わる職員同士、情報交換できてよかった。
- 水温度計算等の基礎的なことから、製造行程など丁寧に説明を受け、改めて勉強になったことが多かった。
- 菓子パン、デニッシュ類、調理パン等幅広い内容をカバーしていて勉強になった。
- 参加人数が丁度良かった。

反省点は？

- もう少し基礎的な部分をわかりやすく説明して欲しかった。

白老牛肉まつり



6月3・4日今年も白老町の大会イベント「白老牛肉まつり」が開催されました。晴天にも恵まれ、あつくりい日ざしの中この白老でしか味わえない一品を求めて遠く道外から、そして近隣市町村からも大勢訪れました。そんな中、元気な「なななかまど」も頑張つて販売活動を行いました。祭りのメインはもちろん「白老牛！」ですが、白老には牛肉のほかにもこんなにおいしいパンやシフォンケーキがあることをアピールできる良い機会でした。来年も頑張ります！

オール胆振フェア in 札幌

去る、7月7日より3日間札幌駅前にてオール胆振フェアが開催されました。なななかまどが出店した内容はシフォンケーキとサターアンダギーの実演販売を行いました。初日は、時折小雨が降ることもあったが、残り二日については天候に恵まれ最高の販売日となりました。シフォンケーキは一日平均200個という数を売り上げました。

これまでに何度か札幌に出店参加した経緯はあるが、まだまだ消費者になななかまどの店の名前は浸透しておらず販売に苦しいものがありました。今後このようなイベントに積極的に参加し、白老に止まらず、消費者範囲の拡大を目指していきたいと思えます。

余暇活動

キンボール？



キンボールは1986年カナダ発祥のスポーツです。誰でも気軽に楽しむ事ができるスポーツとして、学校や地域にも受け入れられ急速に普及しました。



昨年より、キンボールを始め、早坂さん(写真)にインタビュウして頂きました。「紹介を受けて、始めました。とても楽しいです」とコメント。とても表情豊かで楽しそうでした。

ビジュアルポイントに参加して

幌別川に白鳥の撮影に行ったこと、定山溪に一泊し豊平溪滝野すずらん公園から二セコを回って秋を楽しみました。勉強会は少々眠たいですZZZ:



会員の人達はとても親切です。(ポプリ利用者 伊東)

新庄選手の勇姿を!?

白老愛泉園

〜ファイターズ野球観戦〜

平成17年6月17日、土曜日の朝、待ちに待ったその日が来ました。

その日は今季限りで引退を表明した新庄選手がいる日本ハムファイターズの試合の日。その勇姿をまぶたに焼き付けるべく、利用者一同一路札幌ドームへ向かいました。

当日の白老の天気はあいにくの雨、利用者も少し暗い気持ちでバスに乗り込み出発しました。札幌に近づくにつれ天気もよくなりドームに着いてみれば見事な晴天。晴れやかな雰囲気です。



乗りに乗りました。ドームの中はお客様でいっぱい、利用者もドームの広さと人

の多さにびっくりしていましたが、また、その日はグラウンド内に白老町の野球少年団のちびっ子達が招待されていて、2度びつくり。新庄選手と触れ合う少年達に少しうらやましそうな視線を送っている利用者も…。

一旦試合が始まれば選手の活躍に一喜一憂し声を張り上げて応援する利用者も。小笠原選手のホームラン、新庄選手のダイビングキャッチと見所がたくさんあり面白い試合でした。そしてその日一番盛り上がったのは「チアガールのお姉さん」が出てきた時で、利用者が次々に席を立ちだし一緒に踊って盛り上がりを見せました。作業の時には見せない元気と笑顔にとっても満足した一日でした。



ミニット外出進行中

「マスター、生ビールもう一杯」と利用者のTさんは頬を赤くしながらビールのおかわりをしている。

それは七月五日午後七時頃の出来事でした。愛泉園「和多志の家」のメンバーは、夜間居酒屋外出を初めて体験しました。

当園では月一回の外出を実施し、ポウリング、カラオケ等も体験しています。買物や食事中心となりがちで、利用者もそちらの方を楽しみにしているようです。

しかし、個々の趣味の充足や、文化活動の実現といった利用者主体の外出には限界がありました。この度自立支援法の制定により当施設でも半数以上は地域での生活が全儀なくされるのではと話されております。

利用者が迷う事なく地域生活が

送れますよう多種多様な体験を実現させていきたいと思っております。今回初めて夜間の居酒屋外出をこころみましたが、皆様とても美味しくうまい舌鼓をうたっており、「また、来たいよ」と云っておいりました。又、七十才になるHさんは居酒屋は生れて初めての体験だそうです。「ビールも魚もお好み焼、焼鳥もうまいなあ！また来たいなあ！」と感動しておいりました。これからは、生活の時間を活用しながら小グループで個々の趣味を生かした外出を数多く企画して行きたいと思っております。

利用者の意思を尊重し、本当に望んでいる事、楽しいと思っている事は何なのか？常に模索しながら自立した生活、安定した生活に向け、支援して行きたいと思っております。

調理体験



6月23日愛泉園では、希望者集い調理体験を実施し、サンドイッチ、おにぎり、プリンを作りました。はじめに手洗い方法、調理の内容や注意事項について説明を行い調理に取り掛かりました。サンドイッチでは行程毎に分担を決め、卵の殻を剥く、包丁を用いて卵を細かく刻む、パンにマヨネーズを塗る、ハムや卵を挟むといった行程で調理し、みんなそれぞれに真剣に手を動かして仕上げました。その他に大小、形のさまざまなおにぎり、クリームやフルーツの沢山のプリンが出来上がりました。各自調理した物を手に記念撮影、みなさんの感想は楽しかった、今度はうものを作りたい、今度も楽しみたい、調理や



み違ひにの関も頂いて思ます。

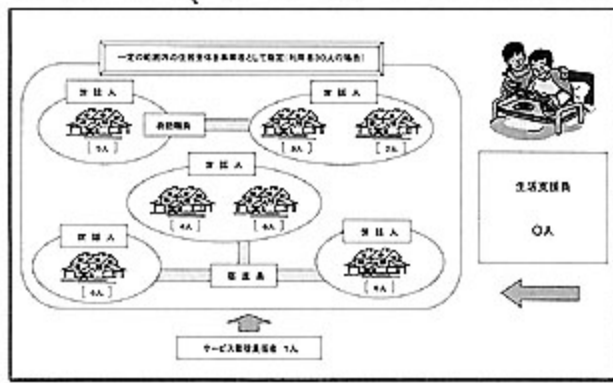


あぶろニュース

平成18年度のあぶろは、開設4年目を迎え、当法人を取りまく地域生活者の拠点として、通所授産施設ポプリのバックアップ体制のもと運営を行っています。

当法人は現在グループホーム8ヶ所(定員4名)32名と、アフターケア生2名の全34名を支援しています。30名を越えていますので左図の『イメージ』に相当します。今年10月の新体系移行に向けて現在盛んに体制案を練っています。

各グループホームでは朝・夕世話人による食事面や日常生活の他の金銭管理面・医療面・各種相談支援等をあぶろ相談員により支援を受けます。余暇活動では、あぶろ支援による各ホーム単位での外出や、地域利用者自治会青葉会による行事等を行っています。



これまで全ホーム統一された条件でサービスを行ってききましたが、各自の特徴に合った集団形成により、支援の厚いホーム、軽度の支援ホーム等に分け、より現実に即した内容へと進めてまいります。新体系移行に先だって月額単価制度及び各サービスマスターの利用料負担制度が始まりました。地域生活者の支援の中でこの経済的負担の打撃は大きいものがあります。時代に求められた地域生活支援の充実の為、あぶろはその役割を担っていきます。

さて、今年度より施行の障がい者自立支援法に関して、特にグループホーム・ケアホームの事業運営については経過措置期間も無くこの10月より移行されます。

この10月より移行されます。

社会福祉法人 自老宏友会

平成17年度事業報告及び決算報告

★ 平成18年5月24日、当法人理事会にて承認されました平成17年度事業報告及び決算について、ここに報告申し上げます。
 なお、詳細をご覧になりたい場合は、当法人事務局までご連絡下さい。

1. 主な事業報告

法人運営	事業の経過
<ul style="list-style-type: none"> 「定年退職者再雇用規程」の制定。 「個人情報管理・保護規程」の制定。 法人役員研修の実施。 任期満了による理事及び監事の選任。 	「白老愛泉園」 <ul style="list-style-type: none"> 肥満健康対策としてランニング等を取り入れた支援実施。 中古ホイールローダー購入。 AED（自動体外式除細動器）の設置。
利用者状況 「白老愛泉園」（入所定員40名、通所部定員7名） <ul style="list-style-type: none"> 男性3名が退所。男性3名が入所。退所者については、全て家庭引取り。平均年齢は、入所35.0歳、通所部23.3歳。 「ポプリ」（通所定員40名）、「ななかまど」（通所定員19名） <ul style="list-style-type: none"> 分場ななかまどの定員を15名から19名に増員。平均年齢は、32.2歳 「あぶる・グループホーム」 <ul style="list-style-type: none"> グループホーム7ヶ所 合計28名 アフターケア 合計6名 計34名	「ポプリ」 <ul style="list-style-type: none"> ポプリ開設5周年記念旅行実施（沖縄、道内）。 配達車両購入。 「ななかまど」 <ul style="list-style-type: none"> ななかまど建替えリニューアルオープン。 ユニバーサルベーキングカップ2005銀賞受賞。 大型液晶テレビ設置。 「あぶる・グループホーム」 <ul style="list-style-type: none"> QOLの充実に図った休日支援実施。 在宅者グループホーム体験地域生活の実施。 利用者自治会の活動行事支援実施。

2. 決算報告

貸借対照表

平成18年3月31日現在

〔法人全体〕

(単位：円)

資産の部			負債の部		
勘定科目	金額		勘定科目	金額	
流動資産	144,747,023		流動負債	19,375,984	
現金預金	111,542,388		買掛金	5,405,446	
売掛金	2,476,371		未払金	13,139,307	
商品	128,605		預り金	831,231	
原材料	1,983,510				
未収金	28,544,117				
立替金	32,032				
前払金	40,000				
固定資産	347,359,085		固定負債	22,890,660	
基本財産	159,758,409		設備資金借入金	12,000,000	
建物	132,403,189		退職給与引当金	10,890,660	
土地	26,355,220				
基本財産特定預金	1,000,000				
その他の固定資産	187,600,676		負債の部合計	42,266,644	
建物	31,089,175				
構築物	3,057,401		純資産の部		
機械及び装置	23,411,617		基本金	108,155,798	
車両運搬具	11,218,592		基本金	108,155,798	
器具及び備品	12,134,488		国庫補助金等特別積立金	47,440,349	
土地	18,666,258		国庫補助金等特別積立金	47,440,349	
投資有価証券	10,000		その他の積立金	76,478,543	
移行時特別積立預金	29,810,000		移行時特別積立金	29,810,000	
その他の積立預金	46,668,543		その他の積立金	46,668,543	
退職共済預け金	10,890,660		次期繰越活動収支差額	217,764,774	
その他の固定資産	653,942		次期繰越活動収支差額	217,764,774	
			(うち当期活動収支差額)	44,119,914	
			純資産の部合計	449,839,464	
資産の部合計	492,106,108		負債及び純資産の部合計	492,106,108	

資金収支計算書

(自)平成17年4月1日 (至)平成18年3月31日

(特別会計: 授産本部、ポプリ)

(一般会計: 法人本部、白老愛泉園、作業部、グループホーム)

(単位: 円)

(単位: 円)

		勘定科目	金額
授産事業活動による収支	収入	授産事業収入	60,375,131
		授産事業収入計	60,375,131
	支出	授産事業支出	56,874,195
		授産事業支出計	56,874,195
		授産事業活動資金収支差額	3,500,936
福祉事業活動による収支	収入	利用料収入	109,573,450
		経常経費補助金収入	18,120
		寄附金収入	24,020
		雑収入	1,652,307
		受取利息配当金収入	4,957
		福祉事業収入計	111,272,854
	支出	人件費支出	62,916,746
		事務費支出	13,836,868
		事業費支出	11,293,441
		会計単位間繰入金支出	1,088,000
	福祉事業支出計	89,134,055	
	福祉事業活動資金収支差額	22,138,799	
に施される整備収支等	収入	施設整備等補助金収入	793,400
		施設整備等収入計	793,400
	支出	固定資産取得支出	6,079,090
	施設整備等支出計	6,079,090	
	施設整備等資金収支差額	-5,285,690	
に財務活動	収入	積立預金取崩収入	0
		財務収入計	0
	支出	積立預金積立支出	5,904,325
		財務支出計	5,904,325
	財務活動資金収支差額	-5,904,325	
当期	資金収支差額合計	14,449,720	
前期末	未支払資金残高	36,478,996	
当期末	未支払資金残高	50,928,716	

		勘定科目	金額
經常活動による収支	収入	利用料収入	189,851,516
		短期入所事業収入	453,000
		経常経費補助金収入	50,260
		寄附金収入	2,013,720
		雑収入	10,200,489
		借入金利息補助金収入	244,987
		受取利息配当金収入	12,220
		会計単位間繰入金収入	1,088,000
		経理区分間繰入金収入	5,412,024
			經常収入計
	支出	人件費支出	102,536,499
		事務費支出	30,567,781
		事業費支出	35,840,099
		借入金利息支出	244,987
		経理区分間繰入金支出	5,412,024
	經常支出計	174,601,390	
	經常活動資金収支差額	34,724,826	
に施される整備収支等	収入	施設整備等補助金収入	291,000
		施設整備等寄附金収入	1,000,000
	支出	施設整備等収入計	1,291,000
	固定資産取得支出	33,168,408	
	施設整備等支出計	33,168,408	
	施設整備等資金収支差額	-31,877,408	
よ財務活動	収入	積立預金取崩収入	1,500,000
		財務収入計	1,500,000
	支出	借入金元金償還金支出	1,000,000
		積立預金積立支出	31,000,000
		財務支出計	32,000,000
	財務活動資金収支差額	-30,500,000	
当期	資金収支差額合計	-27,652,582	
前期末	未支払資金残高	99,982,790	
当期末	未支払資金残高	72,330,208	

事業活動収支計算書

(自)平成17年4月1日 (至)平成18年3月31日

(特別会計: 授産本部、ポプリ)

(一般会計: 法人本部、白老愛泉園、作業部、グループホーム)

(単位: 円)

(単位: 円)

		勘定科目	金額
授産事業活動	収入	授産事業収入	60,375,131
		国庫補助金等特別積立金取崩額	305,554
		授産事業活動収入計	60,680,685
	支出	授産事業支出	56,874,195
		減価償却費	3,654,598
		たな卸資産増減額	-130,917
	授産事業活動支出計	60,397,876	
	授産事業活動収支差額	282,809	
福祉事業活動収支の部	収入	利用料収入	109,614,900
		経常経費補助金収入	18,120
		寄附金収入	24,020
		雑収入	1,476,227
		国庫補助金等特別積立金取崩額	488,205
		福祉事業活動収入計	111,621,472
	支出	人件費支出	61,800,996
		事務費支出	13,810,868
		事業費支出	11,293,441
		減価償却費	4,600,690
	引当金繰入	981,120	
	福祉事業活動支出計	92,487,115	
	福祉事業活動収支差額	19,134,357	
事業活動の部外	収入	受取利息配当金収入	4,957
		会計単位間繰入金収入	40,041,490
	支出	事業活動外収入計	40,046,447
		会計単位間繰入金支出	1,113,000
	事業活動外支出計	1,113,000	
	事業活動外収支差額	38,933,447	
	經常収支差額	58,350,613	
特別部収支の部	収入	施設整備等補助金収入	793,400
		特別収入計	793,400
	支出	国庫補助金等特別積立金積立額	793,400
		特別支出計	793,400
	特別収支差額	0	
当期	活動収支差額	58,350,613	
支繰繰越活動の部	前期末繰越活動収支差額	76,796,659	
	当期末繰越活動収支差額	135,147,272	
	その他の積立金取崩額	0	
	その他の積立金積立額	5,904,325	
	次期繰越活動収支差額	129,242,947	

		勘定科目	金額	
事業活動収支の部	収入	利用料収入	189,851,516	
		短期入所事業収入	453,000	
		経常経費補助金収入	50,260	
		寄附金収入	2,013,720	
		雑収入	10,092,059	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	1,959,569	
			事業活動収入計	204,420,124
		支出	人件費支出	101,262,549
			事務費支出	30,569,781
			事業費支出	35,840,099
	減価償却費		10,744,427	
	引当金繰入		1,163,520	
		事業活動支出計	179,580,376	
		事業活動収支差額	24,839,748	
	事業活動の部外	収入	借入金利息補助金収入	244,987
		受取利息配当金収入	12,220	
		会計単位間繰入金収入	1,113,000	
		経理区分間繰入金収入	14,690,411	
支出		事業活動外収入計	16,060,618	
		借入金利息支出	244,987	
		会計単位間繰入金支出	40,041,490	
	経理区分間繰入金支出	14,690,411		
	事業活動外支出計	54,976,888		
	事業活動外収支差額	-38,916,270		
	經常収支差額	-14,076,522		
特別部収支の部	収入	施設整備等補助金収入	291,000	
		施設整備等寄附金収入	1,000,000	
	支出	特別収入計	1,291,000	
		基本金組入額	1,000,000	
		国庫補助金等特別積立金積立額	291,000	
	固定資産売却損・処分益	154,177		
	特別支出計	1,445,177		
	特別収支差額	-154,177		
当期	活動収支差額	-14,230,699		
支繰繰越活動の部	前期末繰越活動収支差額	132,252,526		
	当期末繰越活動収支差額	118,021,827		
	その他の積立金取崩額	1,500,000		
	その他の積立金積立額	31,000,000		
	次期繰越活動収支差額	88,521,827		